

課題別研修地域プログラム「障害者の権利に関する国連条約（CRPD）実施のための障害者リーダー育成」の修了式祝辞（仮訳）

2024年11月13日

JICA コスタリカ支所長

吉田憲

ウェンディ・バランテス・ヒメネス様、モルフォ自立生活センター代表

木村優子様、コースコーディネーター兼メインストリーム協会職員

佐々木一美様、大田遥香様、メインストリーム協会職員

井上武史様、元モルフォプロジェクトマネージャー、RELAVIN（ラテンアメリカ自立生活ネットワーク）の創設者兼コーディネーター

松崎晃昌様、JICA 関西職員

アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、コスタリカ、エクアドル、ニカラグア、パラグアイのコース参加者および介助者の皆様

モルフォ自立生活センターの職員および介助者の皆様

こんにちは。

本日は、コスタリカでの課題別研修地域プログラム「障害者の権利に関する国連条約（CRPD）実施のための障害者リーダー育成」の修了式にてご挨拶できることを大変嬉しく思います。

まず初めに、本地域プログラムを企画・調整してくださったモルフォセンター（コスタリカにおける自立生活センター）の職員の皆様、そして本コースを実施されたメインストリーム協会に深く感謝申し上げます。同時に、日本とコスタリカでのコース全プログラムを無事に修了された参加者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

コースの主な目的は、障害のあるリーダーの能力を強化し、それぞれの国において障害者の権利に関する国連条約（CRPD）の実施に貢献できるようにすることです。

コース参加者の皆様が、日本とコスタリカでの障害者の自立生活に関する知識や経験を得て、それぞれの国でリーダーとして成長し、障害者の自立を促進する活動に取り組まれることを期待しています。

また、皆様が帰国後に、作成された行動計画を JICA の各国事務所に報告、意見交換され、JICA や各国政府、各機関との協力の可能性を探っていただくことを期待します。この研修の成果を最大化するために、皆様一人ひとりと、各国政府、JICA が協力して取り組むことを願っています。

さらに、JICA コスタリカのウェブサイトでは、コスタリカ協力 50 周年を記念するページを公開しています。このコースに参加された経験について写真付きのインタビュー形式で掲載したいと思っています。一人でも多くの方に障害者の権利について関心をもってもらうことができればと思っていますので、ご協力をお願い申し上げます。

日本での本邦研修やコスタリカでの地域プログラムが、障害者のエンパワーメントを実現し、社会参加を促進するための能力を強化する有益な機会となったことを願っています。そして、皆さま方一人ひとりが、日本とコスタリカの優れた実践例を各国で再現し、ラテンアメリカ全域に自立生活の成果と良い実践を広める先駆者となることを期待しています。

ラテンアメリカ全域において、障害者の独立生活を推進し、包摂的で公平な社会を実現するという大きな夢を叶えるために、熱意を持って取り組む各地域の皆様と力を合わせていきましょう。RELAVIN（ラテンアメリカ自立生活ネットワーク）の強化を通じて、この夢を実現していきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。

**【ご参考】**

[社会保障・障がいと開発](#)

[ラテンアメリカにおける自立生活運動の高まり](#)

「中南米地域の自立生活革命」中南米 10 カ国と日本の障害者リーダーと作り上げた  
オンラインセミナー

国別関連障害関連情報 コスタリカ共和国

パラグアイとコスタリカの障害者リーダーの連携、新しいステージへ

佐々木隆典 専門家 カロイエプロジェクト

坂下共 専門家

長谷川愛 青年海外協力隊員（作業療法士）

井上武史 シニアボランティア/プロジェクトマネージャー

渡邊司 青年海外協力隊員（理学療法士）

